

# III

## 区市町村社協事業評価票（試案）

事業名	
-----	--

### 1 評価の基本事項

1 評価のねらい	
2 評価の周知対象者	
3 評価対象期間	
4 評価者	

### 2 対象となる事業の概要

項 目	内 容
1 事業目的	
2 事業形態	1. 自主事業 2. 補助事業 3. 委託事業 4. その他（ ）
3 定款上の根拠	
4 使命との関連性	
5 地域福祉活動計画での位置づけ	
6 ねらいとする副次的な効果	

3 経営戦略

	指 標 例	評 価	分 析
1 組織使命との整合性	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 使命との関連性の検討や事業執行上の戦略的議論はしなかった</li> <li>2 事業実施の決定にかかわる一部の人のみで検討・判断し事業を執行した</li> <li>3 事業にかかわるすべての人が検討し、組織使命との整合性を確認した</li> <li>4 事業に関わるすべての人が検討し、組織使命との整合性を確認した。さらに事業執行中も必要に応じて協議・検討した</li> </ol>		
2 目標設定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 数値目標算定のためのデータを集める仕組みをつくらなかった</li> <li>2 数値目標算定などの仕組みを作らなかったが、社協で手持ちのデータにより算定した</li> <li>3 数値目標算定などの仕組みを作らなかったが、社協で手持ちのデータおよび既存の調査・統計や行政データをもとに算定した</li> <li>4 当該事業に関する数値目標算定のための仕組みを社協独自で作成し算定した</li> </ol>		
3 目標の共有	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 目標は事業担当者のみが知っていて、他のスタッフは知らない</li> <li>2 目標は所管部署のみで共有した</li> <li>3 ミーティング・掲示板・社内報等により、目標の進捗状況を関連部署で共有した</li> <li>4 ミーティング・掲示板・社内報等により、目標の進捗状況を組織全体で共有した</li> </ol>		
4 利用者ニーズの把握	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 受益者ニーズ把握していない</li> <li>2 受益者に関する既存の調査・統計や行政データを参考にニーズを予測した</li> <li>3 受益者の総数1～2割を対象にサンプル調査を実施しニーズ把握を試みた</li> <li>4 受益者のほぼ総数に対してニーズ調査を実施し動向を分析した</li> </ol>		

Ⅲ 区市町村社協事業評価票(試案)

	指 標 例	評 価	分 析
5 資源提供者の把握	1 資源提供者の状況把握はせず、社協のみの目標設定・事業執行をした 2 資源提供者に協力や支援を打診した 3 日頃から地域・分野を問わず資源提供者とコンタクトを持っており、その中から当該事業に関する協力や支援の打診をした 4 日頃から地域・分野を問わず資源提供者とコンタクトを持っており、先方の提供したい資源を当該事業とマッチングさせた		
6 住民参加のレベル	参加数量実績/管内対象者人口(団体数)の総数×社協が対象として想定する人数(団体数)は、以下のいずれかであった 1 30%未満 2 30%以上～60%未満 3 60%以上～90%未満 4 90%以上		
7 関連事業との連携	1 他の事業との連携は考えなかった 2 目標設定時には他の事業との連携を図ったが、その後事業は個別に進行した 3 目標設定、費用配分、進行管理上他の事業との連携を図ったが、相乗効果を得ることはできなかった 4 他の事業との連携を図り、結果として単独実施よりも相乗効果(成果)を上げることができた		
8 他機関との連携	1 他機関との連携はなかった 2 同業種の機関のみと連携した 3 異業種・異分野の一つの機関と連携した 4 異業種・異分野の複数の機関と連携した		
9 業務の進行管理と成果	1 事業執行上、明確な進行管理をしなかった 2 設定目標が低すぎたため、目標値はクリアしたが、想定した成果は得られなかった 3 設定目標が高すぎたため、進行管理に無理が生じ、目標値をクリアすることができなかった 4 設定目標は困難性はあるが達成可能なものとなっており、適切な進行管理ができた		

4 事業目標とその成果

	目標の内容	数値目標	達成率	分 析
中期目標	<b>【目標期間】</b> ～ 年度  <b>【内容】</b> ①誰が  ②何を  ③いつまでに  ④どのレベルまで			<b>【前年度末実績】</b>
	今年度目標	<b>【内容】</b> ①誰が  ②何を  ③いつまでに  ④どのレベルまで		
<b>【前年度比】</b> 士      %				
<b>【成果】</b>				

5 収支分析

	収 支	費 目	金額 (円)	%	分 析
1 収 支 状 況	収 入	区市町村受託金収入			
		区市町村補助金収入			
		寄付金収入			
		事業収入			
		その他収入 ( )			
		収入合計			
	支 出	財源補填額 ( )			
		人件費支出			
		事務費支出			
		事業費支出			
		その他支出 ( )			
		支出合計			
		剰余金額 ( )			
		指 標 例	評 価	分 析	
2 財 源 の 安 定 性	(過去3年間の収支状況の推移) 1 収支がマイナス傾向または収支分析できない状況 2 収支がほとんど均衡(3年間で5%未満) 3 収支が5%以上～10%未満でプラス傾向 4 収支が10%以上でプラス傾向				
3 財 源 の 効 率 性	(対前年度とのコスト比較) 1 対前年度比でコスト増または分析できない状況 2 対前年度比3%未満でコスト減 3 対前年度比3%以上～10%未満でコスト減 4 対前年度比10%以上コスト減				

6 事業執行

	指 標 例	評 価	分 析
1 利用者満足度	<p>【満足を得られた者の割合】</p> <p>1 30%未満</p> <p>2 30%以上～60%未満</p> <p>3 60%以上～90%未満</p> <p>4 90%以上</p>		
2 担い手満足度	<p>【満足を得られた者の割合】</p> <p>1 30%未満</p> <p>2 30%以上～60%未満</p> <p>3 60%以上～90%未満</p> <p>4 90%以上</p>		
3 事業の 透 明 性	<p>1 組織全体の年次事業計画書・予算書及び事業報告書・決算書以外に公表できるものは作成していない</p> <p>2 関係者向けに当該事業に特化した事業計画・収支状況・成果等を記載した報告書等を作成している</p> <p>3 当該事業に特化した事業計画・収支状況・成果等を記載した報告書等を作成し、一般に公表している</p> <p>4 誰が見ても分かりやすい形式で当該事業に特化した事業計画・収支状況・成果等を記載した報告書等を作成、またその事業を行うに至っている情勢データなどをそろえて公表している</p>		

	指 標 例	評 価	分 析
4 事業の周知度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 チラシやホームページ利用等を利用したのみで広報先や手段について特に考えなかった</li> <li>2 広報戦略は立てたが、使用した媒体の誤りや必要十分な情報が当該事業の対象者に伝わらなかった</li> <li>3 印刷物、マスメディア、インターネットなど利用し、必要十分な情報が当該事業対象者にほぼ伝わった</li> <li>4 日頃からニーズ調査やモニター制度などを実施しておりその上で広報戦略を立てている。当該事業についても対象者の分析をし、必要な対象者に必要十分な情報が伝わった</li> </ol>		
5 事業の先進性	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 当該事業に関連する類似事業は既に他の事業主体の多くが実施している</li> <li>2 まだ誰も手をつけていない分野・テーマについて事業を立ち上げ推進している他機関の手法を取り入れて計画・執行した</li> <li>3 行政施策や他の事業主体が着手していない分野であり、まったく新しい試みの事業である</li> <li>4 行政施策や他の事業主体が着手していない分野であり、まったく新しい試みの事業である。さらに事業を実施した結果、他の事業主体が同様の分野・テーマに着手する新しい行政施策として制度化されるなどの社会的影響を与えた</li> </ol>		

7 利用者の声

--

8 副次的に得られた効果

--

9 総合所見

--